

topics

第12回地域企業情報ガイダンス 開催

10月26日(土)、第12回地域企業情報ガイダンスを、一関高専・第一体育館を会場に開催し、42社2団体(気仙沼、大崎)計44ブースを構え、説明が行われました。

今年度は、地元の企業について学生の皆さんにより知っていただくために、中東北地域の出展枠を約6割に増やして実施した他、計5回説明予約を前半と後半の2回に分けて行うことで学生の皆さんが展示を回りながら選択をしやすいように変更しました。また、一関高専のご協力により、保護者の方々にも沢山のご来場を頂きました。

アンケートの結果では、6割の学生が地域企業の良さを知る事ができた、7割の学生が今後の就職の参考になったとの回答でした。逆に、2割強の学生から希望する業種の企業が少なかったとの声もあり、来年度にむけての課題も見えました。



第12回地域企業情報ガイダンスの様子

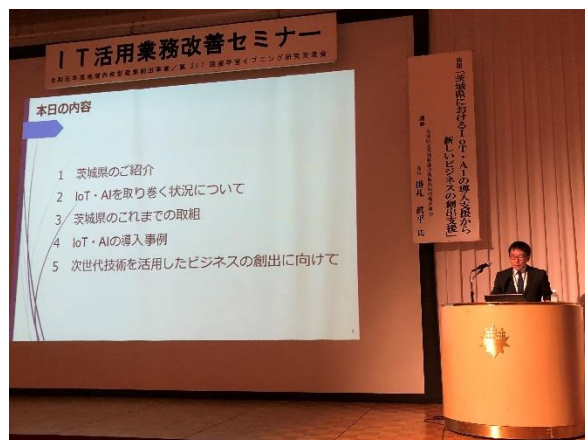
topics

第217回産学官イブニング研究交流会（併催） IT活用業務改善セミナー 開催

10月16日(水)、講師に茨城県産業戦略部技術振興局の掛札様に講師を依頼し、「茨城県におけるIoT・AIの導入支援から新しいビジネスの創出支援」をテーマに講演して頂きました。

茨城県IoT推進ラボでは、IoT活用・導入事例集をまとめていますが、今回それらについて5つのパターンに分類し、解説して頂きました。講演の最後に3つのご助言を頂いています。資料は、当センターで閲覧できますのでお声がけ下さい。

- ・IoTやAIの活用は全国的な潮流
- ・AIに係る知識の習得と自社の課題の把握が重要
- ・課題解決型からビジネス創出への転換も視野に



茨城県 掛札眞平様の講演の様子

第3水曜日は・・・ イブニングの日

『第219回産学官イブニング研究交流会』へのご案内

日時：12月18日(水) 18時00分～ せきのいち

講演：1)一関高専・千葉 悦弥 先生

「ものづくり教育と地域貢献事例の紹介」

2)一関高専・貝原 巳樹雄 先生

「ふるさとといわて創造プロジェクトと知的財産教育」

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加頂けますようお願いいたします。



10月175号でお知らせしましたが、今年度も地域企業による技術連携、技術・情報の交流を図るため「第14回企業情報交換会inいちのせき」を開催いたします。

出展募集につきましては、11月末より開始いたしますので、ふるってのご応募をお願いいたします。また、ご協賛いただける企業様を募集しております。別途募集案内を送付いたしますので、よろしくをお願いいたします。

◆日時 令和2年2月19日(水)

◆会場

展示 10:30 ~ 15:00

一関市総合体育館 (一関市狐禅寺字石ノ瀬25-3)

講演 16:15 ~ 17:45

ベリーノホテル一関(一関市山目字三反田179)

交流会 18:00 ~

ベリーノホテル一関

◆内容 (1)展示 : 参加企業等による技術・製品の展示 80ブースを予定

(2)講演 : 演題 東北地域の持続的な成長に向けて

講師 東北経済産業局長 相樂 希美 様

(3)交流会 : 会費 4,500円



◆協賛金5,000円(一口) * 問い合わせ 担当:菊地 mail:kikuchi@sirc.or.jp Tel:0191-24-4688

ご協賛を頂いた企業様については、第14回企業情報交換会inいちのせきの冊子に企業PRを掲載させていただきます。

各種講座・セミナーのご案内 * 詳細は当センターHPをご覧ください。

【当センター主催講座】

- 1)分析技術実践講座 環境負荷分析研修 12/6(金)、12/14(土)2日コース RoHS/REACH規制物質、元素の特定
- 2)分析技術実践講座 微量微小領域の異物の特定技術研修 1/24(金)、2/1(土)2日コース 微量微小異物判定
- 3)分析技術習得講座 外部講師によるX線CT装置のトレーニング 1月開講予定、日程決まり次第HPにて通知
- 4)品質管理入門講座 4級取得を目指す方等、品質管理の基本研修 1/10(金)、1/17(金)、1/24(金)3日コース

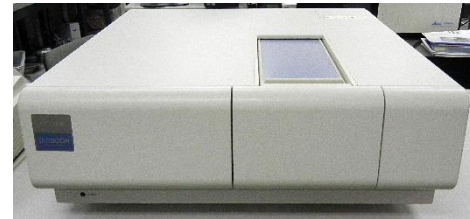
紫外・可視分光光度計 (UV-Vis)

今月は当センターで7番目に利用頻度の多い、紫外・可視分光光度計について紹介いたします。

紫外・可視領域の光が物質を通過するとき、光のエネルギーによって物質の電子状態に変化を起し、そのエネルギーの一部を失います。光が失うエネルギーはその物質の電子状態に対応しています。どの波長の光によって変化が起しているのかを調べるため、光の波長を連続的に変えながら試料に照射し、光が試料に入る前と、試料からでた後の光の強度の比を透過パーセントで表し、吸光の強さ(吸光度)に変換してから照射した光の波長との関係曲線(吸収スペクトル)を測定できます。応用範囲は極めて幅広く対応できます。

- 主な用途：試料溶液の同定、化合物の電子状態の確認、陽イオン・陰イオンの定量分析
工業用水試験法(JIS K 0101)、工場排水試験法(JIS K 0102)、食品分析法
衛生試験法、日本薬局方等の種々の公定法、臨床検査など

お気軽にお問い合わせ下さい!!



紫外・可視分光光度計